

■しずだい産学連携メールマガジンVol. 102

2016年6月21日発行 【毎月第3火曜日】

⇒静大イノベーション社会連携推進機構より、お知らせやイベント情報をお届けします。<http://www.oisc.shizuoka.ac.jp/>からもご覧頂けます。

★今月の「みんなのコラム」は、教育学部の中野 美恵子 先生です。

◆◆◆ 目次 ◆◆◆

1. 「第9回研究・開発成果発表会」のご案内
2. 「第10回ビジネスマッチングフェア in Hamamatsu 2016」に出展します
3. 「グリーンサイエンスカフェ」のご案内
4. 「静岡大学・読売新聞連続市民講座2016」のご案内

※問合せ先のアドレスは、スパムメール防止のため表記を一部変更しています。  
メール送信の際は[at]を@に変更してください。

---

1. 「第9回研究・開発成果発表会」のご案内

地域産業の振興と活性化に向けた県西部地域における幅広いネットワークの形成と活発な交流・連携による研究開発及び製品化・実用化の促進支援を目的に、静岡県と県西部地域の大学及び産業支援機関との共催・後援による研究・開発成果発表会を開催します。

内容としては、浜松工業技術支援センターと大学の研究開発成果の発表、ポスター展示・ポスターセッション及び産業支援機関のポスター展示、また特別講演も予定しております。

【日 時】2016年7月1日（金）

13：00～17：00（受付 12：15～）

【場 所】静岡県工業技術研究所 浜松工業技術支援センター  
大・小研修室、視聴覚室、ロビー

【内 容】

- (1) 研究・開発成果発表 14:20 ～ 16:30 （17～19テーマ）  
レーザー・光、電磁波、半熔融成形、材料加工・評価、繊維複合材料、等  
（センターの技術分野）  
各大学における最近の研究成果（4大学から7～8名を予定）

【静岡大学の発表】

工学部 電気電子工学科 助教 大多哲史  
「交流磁化曲線による磁性ナノ粒子の磁化特性評価」  
14：20～14：40 視聴覚室

工学部 機械工学科 助教 藤井朋之  
「応力腐食割れシミュレーションによる構造材料の寿命評価手法の開発」  
15：30～15：50 視聴覚室

- (2) 特別講演 13:05 ～ 14:10

- ①【Additive Manufacturing Machine (AMM)とAM-CAMの開発について】  
～同時5軸積層造形＋同時5軸機械加工～（戦略的基盤技術高度化支援事業）

しずだい産学連携メールマガジンVol102  
講師：静岡文化芸術大学大学院 デザイン研究科 教授 望月 達也

氏

②【浜松地域のロボット産業創生に向けて】

～ロボットにかかわるオープンイノベーションとビジネス創生～

講師：オフィス・エムアンドケイ 代表 大木 誠

氏

- (3) ポスター展示(13:00～)、ポスターセッション 16:30～17:00  
研究・開発成果ポスター及び共催・後援各機関における企業支援策の出展等

【主催】浜松工業技術支援センター、浜松センター協議会

【参加費】 無料

【問合せ・申込先】

〒431-2103 浜松市北区新都田一丁目3-3  
静岡県工業技術研究所 浜松工業技術支援センター  
技術支援担当  
TEL：053-428-4152、FAX：053-428-4160  
E-mail：hamamatsu[at]iri.pref.shizuoka.jp

---

## 2. 「第10回ビジネスマッチングフェア in Hamamatsu 2016」に出展します

静岡大学との産学連携をご検討の皆さま、ぜひこの機会に静大ブースにお立ち寄りください。コーディネーターがサポートいたします。  
静大発ベンチャー企業の紹介もします。

【日時】2016年7月20日(水) 10:00～17:00  
7月21日(木) 10:00～16:00

【会場】アクトシティ浜松 音楽工房ホール  
(浜松市中区中央3-12-1)

【静岡大学の出展内容】

静岡大学の産学連携活動と大学発ベンチャー企業の紹介

【詳細】<http://www.hamamatsu-bmf.jp/>

【静岡大学の問合せ先】

イノベーション社会連携推進機構  
TEL：053-478-1713  
E-mail：sangakucd[at]cjr.shizuoka.ac.jp

---

## 3. 「グリーンサイエンスカフェ」のご案内

平成25年4月に発足した「グリーン科学技術研究所」の教員が、研究者の夢や失敗談、ときには笑いを交えて個々の研究を紹介します。  
コーヒーを片手に、科学の話題に耳を傾けてみませんか？

次回は、7月15日(金)開催です。

【開催日】2016年7月15日(金)

(1) 17:00～ (2) 19:00～(同様の講話を2回行います)

【会場】B-nest 静岡市産学交流センター ペガサート6階 プレゼンテーションルーム

【講師】間瀬暢之 教授（グリーンエネルギー研究部門）  
「静岡県から発信する環境調和型ものづくり～生分解性ポリ乳酸やマイクロナノバブルについて～」

（概要）

自然に分解されるプラスチックのような環境に優しい物質や合成手法を開発しています。

生分解性ポリ乳酸やマイクロバブルをキーワードとした、有機化学における研究成果を紹介します。

【受講料】 無料

【定員】 100人（先着順）※事前申込不要

【問合せ】 メールにてお問合せください。kondo.mitsuru[at]shizuoka.ac.jp

【詳細】 <http://www.green.shizuoka.ac.jp/topic00027.html>

※終了回

【第1回】2016年4月15日（金）

「カイコは天から下った恵虫？～カイコはタンパク質を自由自在に作る最先端バイオテクノロジー工場～」

（講師）朴 龍洙 教授

【第2回】2016年5月20日（金）

「私たちの生活に役立っている！～クラスター分子の構造と機能～」

（講師）加藤知香 准教授

【第3回】2016年6月17日（金）

「キノコが農業を変える？～フェアリーリング（妖精の輪）を作るキノコから得られた物質で作物増産～」

（講師）河岸洋和 教授

---

#### 4. 「静岡大学・読売新聞連続市民講座2016」のご案内

静岡大学創立60周年を機に始まった「静岡大学・読売新聞連続市民講座」も2016年度で8年目となり、毎年多くの皆様にご参加いただいています。

「地球市民・未来創生塾～現代日本に生き、考えるための5つの視点～」＜全5回＞

地球規模で考え、地域に根ざして行動する——現代社会に生きる我々が、未来志向でよりよく

生きようとする際、グローバルな視点が重要になります。

2016年度の静岡大学・読売新聞連続市民講座は、グローバルな視点をさらに展開し、宇宙から地球、世界から日本、静岡にいたる多様な5つの講座を提供します。

【開催日】 時間はいずれも14:00～16:00

・第1回：2016年7月16日（土）

「超弦理論で解き明かす宇宙誕生の謎～現代の宇宙像の先へ～」

（講師）土屋麻人（静岡大学理学部准教授）

・第2回：8月20日（土）

「地球環境の歴史を読み解く～地球と人類のこれから～」  
(講師) 山田和芳 (ふじのくに地球環境史ミュージアム准教授)

- ・ 第3回 : 9月3日 (土)  
「近代世界の地域紛争～その背景と処方箋～」  
(講師) 大野 旭＝楊 海英 (静岡大学人文社会科学部教授)
- ・ 第4回 : 10月1日 (土)  
「日本における異文化交流の一側面～静岡とフランス～」  
(講師) 今野喜和人 (静岡大学人文社会科学部教授・学部長)
- ・ 第5回 : 11月5日 (土)  
「静岡という地域～その課題と可能性～」  
(講師) 太田隆之 (静岡大学地域創造学環准教授)

【定員】 各回250人  
【参加費】 無料  
【会場】 あざれあ (静岡県男女共同参画センター) 6F大ホール

【申込方法】 氏名 (ふりがな)、住所、年齢、電話番号、参加される回を明記して  
FAX・メール・葉書のいずれかによりお申し込みください。

【申込先】 FAX : 054-252-0310 メール : shizuoka[at]yomiuri.com  
葉書 〒420-0853 静岡市葵区追手町9-22 読売ビル3F 読売新聞静岡支局 静  
大市民講座係 宛

【問合せ】  
(内容に関すること) 静岡大学イノベーション社会連携推進機構 地域連携生涯学習部門  
TEL:054-238-4817 メール: LLC[at]ipc.shizuoka.ac.jp  
(受付に関すること) 読売新聞静岡支局 静大市民講座係  
TEL : 054-252-0171 メール : shizuoka[at]yomiuri.com

【主催】 静岡大学、読売新聞東京本社静岡支局  
【詳細】 <http://www.lc.shizuoka.ac.jp/event002492.html>

---

## 《 みんなのコラム -96- 》

記 : 学術院教育学領域 教授 中野美恵子

1本の電話が、その後の共同研究に対する方向性を決めてくれました。

静岡市役所から、地場産業「下駄」の有効性を検証したい、その手伝いを、というお話。姿勢や動作研究が専門なので、出来ることならとお受けした2003年。  
以降サンダルや下駄の特性、0脚矯正効果、さらにはユニバーサルデザインの調理台・高さの姿勢検証など様々を。  
しかし特に思い入れがあり今でも継続している産学連携の研究は、「自立体力プログラム」開発です。

2005年、県内企業から「自社製品を用いた高齢者筋力トレーニング開発」依頼があり、身内に介護問題を抱えていたので思い入れの強い仕事に。  
2006年、日本の介護予防に筋力トレーニング導入の時宜もあり、静岡発プログラムは注目され、国内ばかりか昨年はJICAを通してタイへも普及の可能性が広まりました。

## しずだい産学連携メールマガジンVol102

健康産業ではない企業と共同研究なので、初めは展開を心配しました。しかしプログラム発表約10年、企業にとって短期的な利潤は？ですが、中長期的・将来の発展性を考えて対応、測定方法の第三者検証なども丁寧に実施し、ハードルを一つ一つクリアにしながら、企業と一緒に進めてきました。それが東京ビッグサイト「国際福祉機器展」セミナー開催を待つて下さる信頼性や、測定方法の特許2本取得に繋がったと考えています。

こうした研究の発展性は、産学連携の共同研究でなければありえません。「自立体力プログラム」導入の自治体や企業から依頼があると、開発当事者としてばかりでなく、自分の手を離れて成長する「共同研究」の有効性、そして社会のお役に少しでも立っているという喜びを感じています。

当初からイノベーションのコーディネーターさんには、本当にご尽力頂きました。静岡大学発「自立体力プログラム」について、これまで同様にご支援をお願い致します！

---

### << 編集後記 >>

6月16日(木)～17日(金)にアクトシティ浜松で第14回産学連携学会(浜松大会)が開催されました。今回は本学が幹事校でしたので、大会長を伊東学長が、そして実行委員長を弊機構の木村機構長が務めました。

産学連携学会は、産学連携に関する諸課題について、産学官の学識経験者や実務家が広く交流し、相互に啓発しあう場として毎年開催されておりますが、浜松大会には去年を上回る約420名を超える方が参加をしてくださり、大盛況のうちに閉会いたしました。

本学会は一般講演、オーガナイズドセッション、ポスターセッションと大きく3つに分かれております。一般講演では「産学官連携プロジェクト」「海外の産学連携」「知的財産」など20セッションが開催され、136件の発表がありました。また、オーガナイズドセッションは例年を上回る5テーマの発表があり、多くの方に聴講していただきました。ポスターセッション会場には地元の企業ブースと物産展も併設し、浜松市についても全国の方にアピールをする良い機会になったと思います。さらに、昨年を引き続き「日韓ワークショップ」も開催され、日本と韓国双方の産学連携の現状の報告と今後の課題について意見交換をしました。

来年の産学連携学会は宇都宮市で開催されます。ご興味のをお持ちの方は下記産学連携学会のホームページをご確認ください。  
<http://j-sip.org/index.htm>

\* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* —

◆メールマガジンに関するお問合せ・配信先変更・担当者変更・  
配信中止のご連絡は、[sangakukoho5\[at\]cjr.shizuoka.ac.jp](mailto:sangakukoho5@cjr.shizuoka.ac.jp) まで  
お願いします。(↑送付の際は[at]を@に変更してください。)

◆本メールマガジンの商業用の転載はお断りいたします。

発 | 行 | 者 |

国立大学法人静岡大学イノベーション社会連携推進機構  
ページ(5)

しずだい産学連携メールマガジンVol102

編集：谷口悠里  
発行責任者：木村雅和

〒432-8561 静岡県浜松市中区城北3-5-1  
TEL 053-478-1413  
URL <http://www.oisc.shizuoka.ac.jp/>

\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*  
Copyright(c)2008-2016  
Organization for Innovation and Social Collaboration,  
Shizuoka University. All rights reserved